

- 管内 日高管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 地域と連携を図り、日常的な活動につなげる学校行事の実施
- 全校児童による体験活動の実施
- 毎年、継続した取組による児童の交通安全意識の醸成

取組の実際

ねらい

- 毎年実施する交通安全教室を通じて、児童の交通安全に対する意識を醸成するとともに、体験活動から自ら命を大切にすることを育てる。

内容

○ 交通安全教室の実施

本校近くには交通量が多い国道が通っているため、毎年、春の交通安全運動の時期に合わせて全校で交通安全教室を実施している。

1 関係機関と連携した取組

町が重点的に推進する「夜光反射材」の効果を児童が体験できるように、事前に巻き付け型の反射材を児童に配付し、交通安全教室を開催した。交通安全教室の中では、警察署員による説明を行ったり、暗転した体育館の中で巻き付け型の反射材の効果を実感する体験を実施したりするなど、児童の安全意識を高める工夫をした。

また、交通安全だけではなく、薄暮の時間帯や夜間の安全確保についても学習を深めるため、地域の交通安全協会会長による、夜道で事故に遭わないようにするための注意喚起を行った。

2 交通安全宣言の実施

児童一人一人の交通安全への意識を一層高めるため、第2学年児童による交通安全宣言を行った。

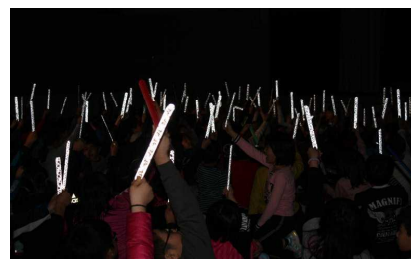
最後に、地域の交通安全協会から全校児童に反射材付きのキーホルダーがプレゼントされ、児童を代表して児童会長が感想を発表した。

「児童会長の感想」

「今日の交通安全教室で反射材の効果がよく分かりました。これからも、私自身が交通事故に遭わないようにするとともに、全校の児童が交通事故に遭わないように児童会としても取り組んでいきます」



【警察署員による説明】



【夜行反射材の効果の体験】

成果と課題

- 地域の交通安全協会や警察と連携するとともに、体験活動を取り入れた学校行事を行ったことにより、児童の交通安全に対する意識を高め、自ら命を大切にすることを育てるにつなげた。
- 毎年同じ取組とならないよう、安全教育の全体計画を見直し、道徳や教科等との関連を図り、効果的な指導を進めていく必要がある。